

令和2年度 事業報告書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

学校法人平野学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 平野学園（昭和56年12月28日法人設立）

代表者 理事長 戸田 清三

住 所 大阪市平野区平野上町1丁目2番2号

電 話 06-6791-3939

FAX 06-6794-2543

設置する学校

住 所 大阪市平野区平野上町1丁目2番2号

名 称 認定こども園 西平野幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 14名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 13名

2. 事業概要

（ 西平野幼稚園 ）

《教育方針》

- ・明るくのびのび元気よく
- ・豊かな心大切に
- ・みんな仲良く手をつなごう
- ・自分で考え自分でできる

《教育内容》

小規模の利点を生かし、目の行き届いた心の通う保育をモットーに、先生と幼児との信頼関係を大切にして、バランスのとれた総合的な心身の発達を願って努力しています

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	35	1	35	1	35	3	105
2020年度1号	1	21	1	25	1	16	3	62
2号		2		3		5		10
2021年度1号	1	31	1	17	1	23	3	71
2号		0		5		4		9

《保育時間》

月～金曜日 午前8時30分～午後2時30分

土曜日 休園

《公定価格》

利用者負担金 昨年から国の方針として幼児教育と保育が無償化された。

《上乘せ徴収》

入園手数料 年額 10,000円(入園時)

施設整備費 年額 40,000円(入園時)

《実費徴収》

制服代 約 34,000円

保育用品代 年額 約6,800円(入園時)

給食代 月額 約6,600円(1号)、約8,250円(2号)

絵本代 月額 約410円~440円

遠足代 年額 約9,000円~12,000円

教材代 3才 年額 約3,000円~4,000円

4・5才 年額 約4,500円~5,000円

カラー帽子代 約1,000円

ハーモニカ代 約1,500円(年長時)

《預り保育の内容及び費用》

月~金曜日 7:30~8:30 100円

14:30~16:30 300円

14:30~18:30 600円

土曜日・長期休業日 7:30~8:30 100円

8:30~11:30 600円

8:30~14:30 900円

8:30~18:30 1,500円

《行事实施状況》

入園式、親子遠足(中止)、プール遊び(中止)、遠足(秋1回のみ)、運動会、お楽しみ会(中止)・クリスマス会(中止)、観劇遠足(中止)、こどもオペレッタ会(中止)、卒園式

《施設関係》

園地面積 656㎡ 運動場面積 484㎡

《設備・修繕・備品関係》

門柱門扉及び遊具の塗装

園庭日除けテント設置工事

幼稚園 ICT(情報通信技術)を導入しソフトウェア及びノート PC 6台購入

保育室等に空気清浄機 7台購入

職員室を改装

《事業報告》

令和2年度の事業は、前年度より園児数が10名減少したうえに、2号こどもの定員オーバーが続いていたため定員調整をしなければならず、補助金等の収入が減り財政的には苦しくなった。

3月から5月まで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全国の学校園に対し臨時休業が要請され、4月からの新年度を迎えることが困難となった。しかし、保育園や認定こども園では保育が必要な子どもを預かっているため完全休業は出来ないため、しっかりと感染対策をしながら、少人数とはいえ預かり保育を継続した。その他のお休みが可能で家庭保育に協力していただいている保護者に向けては、親子で遊ぶアイデアを園のホームページで発信し続けた。

臨時休業要請が解けて6月から再開した時には、保護者も園児も待ち望んでいた様子で、職員も園児との再会を喜びつつ、感染者を出さないように気を引き締めた。しかし、感染拡大の波が夏に第2波、冬に第3波と起きたため、園の行事を中止せざるを得ず、残念な1年となった。

財務面では、やはり新型コロナの感染対策として消毒剤や備品等の購入に経費がかかったといえる。そして、年々強くなる夏の紫外線除けのため、園庭を覆う大型シートの設置工事を行った費用、また幼稚園のICT化を進める費用など出費が多くなった。

そのため、事業活動収支計算書の教育活動収入計が89,485千円であったのに対し、教育活動支出計が93,107千円となり、教育活動外収入の11千円を足して経常収支差額が△3,610千円の決算となった。

新年度もまだ新型コロナの感染は終息しそうに思えないので、これまでと同様に万全の感染対策をしていきたい。経費の節約を心掛けながらも、やはり園児たちが喜んで取り組む保育を考えて自主性を伸ばし、お友だちと力を合わせて協力する協調性と思いやりの心を子ども達にこれからも育てていきたい。

3. 財務状況 別紙参照。